



始良市重富地区で地域づくりに取り組む「あい  
ら未来会議」が、同市平松の関連するNPO法人  
事務所にてツリーハウスを作った。約半年をかけた  
作業には、子どもや高齢者も参加。DIYを通じ  
て交流し、地域の居場所づくりにつなげた。お披  
露目には集まった子どもは、笑顔で駆け上った。

## 始良・重富

# 手作り世代超え交流

ツリーハウスは、大木の幹  
を取り囲むように作られた屋  
根なしの部屋。約10平方メートルの  
床面は、地上から約1・9メートルの  
高さにある。当初ははしご  
で上る設計だったが、上肢欠  
損の人でも楽しめるよう緩や  
かな階段に変更した。

# ツリーハウスみんな住人



お披露目されたツリーハウスに喜ぶ子どもやあいら未来会議メンバー

|| 始良市

同会議のメンバーやボランティアが昨年夏に活動を始め、月1回のペースで集まり製作してきた。親子のいす作りイベントなども開催し、子どもからお年寄りまで多くの住民が関わった。9日の「あさごはん食堂とみんなの居場所 shigetomi」の開催に合わせてお披露目した。設計を担当した建設会社勤務の三窪翔太さん(27) || 同市協元 II は「階段を幅広く緩やかにして、誰でも使えるように考えた。子どもに遊びに使ってもらえたらうれしい」と表情を緩ませる。重富小学校6年の町涼花さんは「ツリーハウスができてすごい。みんなが集まってご飯食べると楽しそう」と喜んだ。(江口淳司)